

3月の予定&救急輪番病院

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	1	2 三月のマツタビ画廊 鑑賞バスツアー 12:30~17:30
3 林隆三と楽しむ 15時~ 寺小屋子ども大学	4 放射能に関する 講習会10時~12時 ヨーガ療法 10時~12時	5 ももりん 10:15~12時	6 きささ万世お茶会 10時~12時	7 ままカフェ 10時~14時	8	9 小野川豆もやし体験 10時~14時 加藤室紀子コンサート 17時~
10 復興のつどい 10時~13:30 音楽の絵本 11時~ 寺小屋子ども大学	11 追悼式 10時~18時	12 ももりん 10:15~12時	13 きささ万世お茶会 10時~12時	14 ままカフェ 10時~14時	15 野の花交流会 10時~13時	16 親子撮影会& だかしや楽校(南側) 10時~15時
17	18 ヨーガ療法 10時~12時	19 ももりん 10:15~12時	20 春分の日 きささ万世お茶会 10時~12時	21 ままカフェ 10時~14時	22	23 避難ハハ*集まれ!! 男の交流会 18時~20時
24 10円バス~ 10時~12時 まもろう子どもたち、 つなごろう私たち 9:30~13時 寺小屋子ども大学	25 寺小屋子ども大学	26 ももりん 10:15~12時 寺小屋子ども大学	27 きささ万世お茶会 10時~12時 親子でたのしい オーケストラ 15時~	28 ままカフェ 10時~14時	29 原子力損害賠償 支援相談会 10時~16時	30
31	1 ※寺小屋子ども大学時間 午前:10時~12時/午後:13時~15時	2	3	4	5	6

☆上記予定は申込の必要なものもあります。
詳しくは米沢市社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。

米沢市平回夜間・休日診療所
※場所はすこやかセンターに隣接しています

TEL:0238-22-9922

	休日診療	平日夜間診療
診療科目	内科・小児科	内科・小児科
診療日	休日、祝日、12月31日 1月2日、1月3日	月曜日から金曜日まで (休日診療日を除く)
診療時間	9:00~17:00	19:00~21:30
受付時間	8:30~11:30 13:00~16:30	18:30~21:00

救急輪番病院 3月

救急時のみ
対応している病院です

日	月	火	水	木	金	土
					1 舟山	2 市立
3 三友堂	4 市立	5 三友堂	6 市立	7 舟山	8 市立	9 三友堂
10 市立	11 三友堂	12 市立	13 舟山	14 市立	15 三友堂	16 市立
17 三友堂	18 市立	19 舟山	20 市立	21 三友堂	22 市立	23 三友堂
24 市立	25 舟山	26 市立	27 三友堂	28 市立	29 三友堂	30 市立
31 三友堂						

救急患者の診療時間
 8時30分~翌日8時30分 市立病院 ☎22-2450
 17時 ~翌日8時30分 三友堂病院 ☎24-3700
 17時 ~翌日8時30分 舟山病院 ☎23-4435

◆救急輪番病院制について
米沢市の救急輪番病院制は休日・夜間の急病や病状の悪化など、入院治療が必要な重症な救急患者を受け入れるための制度です。

なじょしたあ

米沢市社会福祉協議会
生活支援相談員
H25. 3. 1 発行
Vol. 13

今シーズンは寒波の襲来が度々あり、雪かきが落ち着いたあ〜かと思うと、また雪かき(*o*)、本当にお疲れ様でした。「三寒四温」と言う言葉がありますが、まさしくその通りの季節になってきましたね。春はずぐそこ!です。雪の中をかき分けて生えてくる草花に春のいぶきを感じる今日この頃... 3月3日は女の子のお祭り(ひな祭り)です。先月号でも紹介しました「山形おきたま雛回廊」など、山形県内各所で時代雛を鑑賞したりできます。花より団子を楽しむのもいいですね♪そして、3月は卒業や旅立ちの季節です。別れがあるから出逢いがありたく感じますよね。



2月にイベントを2つ開催させていただきました。たくさんの参加を頂きありがとうございました。みなさんの笑顔紹介しま〜す。



こんな事知りたい!こんな事載せてほしい!そんなご意見お待ちしております。

元気のもと!!

第4回



今回は、米沢市出身の民法学者我妻榮にちなんで設けられた我妻榮児童文化賞を受賞した米沢三中三年の面川きららさんのご紹介です。

面川さんは、ご家族と郡山市から避難。慣れない土地で受けた親切のことを書いた作文に対する受賞です。ここに、その作文を掲載します。

『新たな土地で』

(平成24年度 朗読発表作品「全国特別優秀作品」)

「きれい・・・。」

引っ越して新たな土地に来た私は、思わずつぶやいた。まだ少し積もった雪の間から顔をのぞかせる草木に、堂々とそびえ立つ吾妻山、趣のある建造物。これらを見て、無意識に出た言葉だった。

東日本大震災後、原発事故の影響を恐れて山形県の米沢市へ引っ越して来た私達。当然、土地や気候・雰囲気など、慣れないことばかりで、初めての転校にも不安があった。早くこの街に慣れよう、そうすれば不安もなくなるかもしれないと、私はこれから毎日通う学校まで行ってみることにした。

ところが、私は道に迷い、一時間半かけて来た道に戻っていた。一緒に連れていたペットの犬も私も疲れきって座り込んでいると、近くの電気屋の店主さんが、声をかけてくれた。

「どうした? なんで座っているんだ?」

それを聞いて、戸惑いながらも安心したことを覚えている。

「道に迷って、水もなくなったし、疲れたので休んでいたんです。」

「そうかい。じゃあ、ちょっと待ってて。」

そう言って店のなかへ戻った店主さんは、私達に飲み物をもってきてくれた。

「ありがとうございます。」

「いやいや、しっかりやすんでいきなよ。」

それだけでもとても嬉しかったのだが、さらに私は親切を受けた。電気屋のお客さんや近所の人達が、次々と優しく声をかけてくれたのだ。

「あらあ、可愛いワンちゃんね。よしよし。」

「お腹すいたでしょ? これ食べな。」

「三中まで行くには、十字路をまっすぐ進むんだよ。」

初めて会ったはずなのに、まるで近所の子に話すように自然だった。福島から来たというと、放射能を気にして引いていくかもしれないという不安が、あっさり崩された。ここに来て良かったと思った。まだいろんな心配はあるけれど、こんなに優しい人達のいる米沢なら、やっつけていける気がする。

忘れられない親切を受けてから一年と少し経った今、私は米沢での生活にもすっかり慣れて、元気に学校に通っている。学校でもいろんな人と出会ったけれど、みんな優しい。顔色が悪ければ心配し、いくつもの物事を一人でやる時には、手伝ってくれる。そうして優しくしてもらうたびに、あの時感じたことは、間違っていないかったんだと思う。

これから親の元を離れるまでの間、私はずっとこの米沢に暮らしていくだろう。その間、私があの日受けた親切を、次は誰かに返していく。それを繰り返して、少しずつ親切の輪を広げていき、私の第二の故郷米沢が、幸せの発信地になるようにしたい。

(担当生活支援相談員より...)

すばらしい賞に選ばれた、きららさん、本当におめでとうございました。確かな一歩を歩み始めたきららさん、名前のとおり輝いていますよ。

この様な、頑張ってるよ!! な話...などみんなに知ってもらいたい!! という情報をお持ちの方! 訪問員が伺った時でも、お電話にてのご連絡でも大丈夫です。ぜひお教え下さいね。



おしょうしなっし!!

また、どこかで...



H24.1月から皆さんのお宅に訪問させて頂いておりました生活支援相談員の仲間2名が3月をもって卒業となります。皆さんにお会い出来たことに感謝とお礼との事で、この場をお借りして一言紹介いたします。



土田 悦子

「生活支援相談員」・・・そんな立派な役職名の元、1年3カ月勤めさせて頂いた訳ですが、私はみなさんへ支援、そして相談役になれたのか。とても不安の毎日でした。

でも、こんな出来そこないの私をみなさんは暖かく迎え入れて下さり、私が逆に元気をもらい、みなさんが私を励ましてくれていたように思います。

震災当時も米沢にいた私。幸いにも家も残り、電気も水道も普段通りに使え、TVで被災地の様子を家族みんなで見ていた毎日。大変な事がおきているとは思えど、実体験した事のない私がみなさんにお手伝いできる事。それは米沢の生活でわからない事を教えてあげたい。お子さんと来ているお母さん達と、私も2人の母として共感して、話を聞いてあげたい。みなさんの話を受けとめたい、それだけでいい。

この期間でそれが充分に出来たのか・・・は謎のままですが、訪問先での「楽しかった。」「久しぶりに笑えたよ。」「来てくれたのね。」「会いたかった。」などなど、本当にうれしい言葉をたくさん頂きました。本当に本当にありがとうございました。私にとってこの1年3カ月は宝物です。

米沢での生活もまだ慣れない方もたくさんいらっしゃると思います。この事業はまだ続きます。ぜひ米沢が第二の故郷になれるようなそんなお手伝いが出来るようがんばっていきたいと思います。

そして私は一旦、みなさんとお別れになりますが、米沢のどこかに必ず出没してます。見かけたらぜひ声をかけて下さいね。「なじよしたあ!」って... ^v^



戸屋 節子

皆さん、1年3ヶ月という短い期間でしたが、大変お世話になりました。

生活支援相談員という仕事に就かせて頂き、皆さんと出会えたこと。少しでも苦しみを分かち合えたこと。一緒に笑顔になれたこと・・・たくさんの思い出が頭をよぎります。

震災当初、米沢市営体育館に避難されていた方々に家中のものをかき集め、すぐに届けたものの、体育館での悲痛な声に「私はこんなことしかできないのか・・・!!」といたたまれない気持ちになりました。そんな中、生活支援相談員という仕事に就くことができ、皆さんの声を直接お聞きすることができ、少しでも心の支えになれたのかなあ...?と思います。何もわからない私に皆さんが逆に励まし、笑顔に向けて下さったこと、一生忘れません。

この1年3ヶ月という短い期間で私は皆さんにどれだけのものをお届けできたのかは分かりません。

でも、私は皆さんから本当にたくさんものを頂きました!!ありがとうございます!!

これからも生活支援相談員はいます。みんな同じ気持ちで皆さんに寄り添っていきたくと思っています。何でも言って下さいね!!1人で闘わないで下さい。みんなであっていきましょう。

私は米沢人ですからあちこちにいます。いつでも気軽に声をかけて下さいね!!この仕事は辞めても気持ちは変わりません。皆さんの“幸せ”を心から祈っています。本当に本当にありがとうございました!!

編集後記

米沢で三度目の春を迎えることになり、雪との格闘も普通と思える自分って... 沢山の出会いに感謝!そして、新たにスタートするみなさまにエールを(^o^)/ 米沢市社会福祉協議会 0238-24-7881 生活支援相談員 ま

